

書 写

(2) 書写

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現する学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 我が国の伝統的な文字文化を継承し、これからの社会に役立つ様々な文字文化について理解し、文字を正しく整えて速く書いたり、効果的に書いたりする学習を充実するための工夫 (3) 視聴覚教材やコンピュータなどを利用して、学習の充実を図るための工夫 (4) 生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫 (5) 家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫 (6) 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等
3 その他	今日の課題への配慮や工夫

書写

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について 各単元が「1 見つけよう」「2 確かめよう」「3 生かそう」の学習過程で展開し、課題発見から出発し実践を通して知識・技能の習得を目指していく学習活動が設定されている。 〔例〕 (P28～29)</p> <p>●着眼点(2)について 各単元で「書写のカギ」のコーナーを設置し、知識・技能の習得に向けて重要な学習のポイントを言葉でまとめ、キーワードは太字で示す工夫がなされている。 〔例〕 (P28～29)</p> <p>●着眼点(3)について 用具の準備や片付け、運筆、関連する他教科の紙面、書写テスト等を閲覧できるデジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P24、40)</p> <p>●着眼点(4)について ・巻頭の「文字を『書く』ってなんだろう」で、手書きを学ぶ意味について触れ、学習意欲が高まるよう工夫されている。 〔例〕 (P1) ・毎学年末の「書写テストに挑戦！」で、学びをテスト形式で振り返ることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P44)</p>	<p>●着眼点(5)について ・「生活に広げよう」で、手紙やお礼状など身近な生活場面を題材として取り上げ、さまざまな書式に関する知識・技能が学習できるよう工夫されている。 〔例〕 (P22～23) ・「書写活用ブック」が「生活に広げよう」と連携されており、生活のさまざまな場面で役立つ書式や字典等が参照できるよう工夫されている。</p> <p>●着眼点(6)について ・「文字といっしょに」で、伝統的な文字や筆記具、文字文化を取り上げ、手書き文字への関心が高まるよう工夫されている。 〔例〕 (P34～35) ・教科書イメージキャラクターや生徒イラストを付けて、吹き出しのセリフによって生徒の気づきや考えを促すよう工夫されている。 〔例〕 (P24～25)</p> <p>●着眼点(7)について ・「これまで学んできたこと」で、小学校書写の学習で獲得した知識・技能を確認できるよう工夫されている。 〔例〕 (P6～7) ・国語や他教科の学習と関連している単元・題材に教科関連マークを付けて、教科横断的な学習ができるよう工夫されている。 〔例〕 (P39)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
15 三省堂	<p>●着眼点(1)について 各単元の「目標」「振り返り」で主体的に学習できるようにし、「書き方を学ぼう」で書字の工夫等を対話的な活動を通して見つけられるよう工夫されている。 〔例〕 (P24～25)</p> <p>●着眼点(2)について 「書き方を学ぼう」で、書き方のポイントを取り上げ、各単元で学習すべき内容を言葉でまとめ、キーワードは青字で示されている。 〔例〕 (26～27)</p> <p>●着眼点(3)について 運筆や文字の配列等の解説、学習内容を深めるための補充教材や参考資料等を参照するためのデジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P14)</p> <p>●着眼点(4)について ・「この教科書の使い方」で、教科書の構成と学習の流れを示し、目標の確かめから振り返りに至るまでの過程がわかるよう工夫されている。 〔例〕 (P4～5) ・「書いて身につけよう」の終末に「振り返ろう」のコーナーを設け、学習したことが活用できるかを実際に書いて確かめ、学びを自分の言葉でまとめるよう工夫されている。 〔例〕 (P21)</p>	<p>●着眼点(5)について ・「やってみよう」で、グループ新聞や情報誌等を取り上げ、学習したことを発展的に生かす活動や学びを他者に伝える活動を通して実践的な力の定着が図られるよう工夫されている。 〔例〕 (P64～65) ・「資料編」で、日常の書式や書き方のポイントを紹介し、学びが実生活につながるよう工夫されている。</p> <p>●着眼点(6)について ・1年「文字の変遷」で、文字の歴史や文化を取り上げ、文字を手書きする意義が認識できるよう工夫されている。 〔例〕 (P30～31) ・3年「身のまわりの文字」で、手書き文字の魅力を伝える製作物や人物を取り上げ、文字文化の豊かさや効果的な文字表現について考えられるよう工夫されている。 〔例〕 (P68～71)</p> <p>●着眼点(7)について ・「学習のはじめに」では姿勢や筆記具の持ち方を、1年の冒頭教材では楷書の書き方の復習を構成し、小学校書写の学習との接続が図られるよう工夫されている。 〔例〕 (P6～10、P12～15) ・各学年の「やってみよう」の教材や「書いて身につけよう」の活動で、国語の教材と関連づけた学習指導ができるよう工夫されている。 〔例〕 (P28～29、P44～45)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について 各単元の「考えよう」で、主体的・対話的に学ぶ場面を設定し、話し合いによる交流活動や気づいたことを書き込む欄が設置されている。 〔例〕 (P14)</p> <p>●着眼点(2)について ・各学年の硬筆教材として古典教材を取り扱うことで、伝統と文化を尊重し我が国と郷土を愛する心情が育てられるよう工夫されている。 〔例〕 (P26～27)</p> <p>・いくつかの教材で朱墨を使った図版を掲載することで、適切に運筆する能力や行書ならではの筆使いの習得を図るよう工夫されている。 〔例〕 (P42～43)</p> <p>●着眼点(3)について 各単元における運筆動画の視聴や、他の文字で応用を図る補充教材の活用ができる「まなびリンク」にアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P44)</p> <p>●着眼点(4)について 巻頭の「学習の進め方」で、学習の取り組み方が理解できるよう生徒の書字例や活動写真、学び方のポイントを示し、自ら課題を解決していく方法がわかるよう工夫されている。 〔例〕 (P10～11)</p>	<p>●着眼点(5)について ・2年「学習を生かして書く」で、新聞や掲示物、案内状を教材として、さまざまな学習活動や社会生活に生かされるよう工夫されている。 〔例〕 (P90～93)</p> <p>・「書式の教室」で、手紙の書き方や封筒の書き方等を取り扱い、日常的に生きてはたらく書字力が育成できるよう工夫されている。</p> <p>●着眼点(6)について ・「コラム」で、古くから伝わる伝統的な文字や文字文化の系譜を知り、身の回りの文字環境についての関心が高まるよう工夫されている。 〔例〕 (P24～25)</p> <p>・自発的に課題解決が図れるよう各単元における学習過程を明確にし、基礎・基本をおさえて書く力が定着でき、系統的・段階的な学習が進められるよう工夫されている。 〔例〕 (P20～21)</p> <p>●着眼点(7)について ・小学校で学習してきた基本点画や筆圧、穂先の動き等の学習を、第1学年の最初で復習できるよう工夫されている。 〔例〕 (P16～17)</p> <p>・国語力の基礎を養うため、文学作品や古典、小説家や詩人等の自筆の文字等を取り上げて関連づけられるよう工夫されている。 〔例〕 (P30～31)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
38 光村	<p>●着眼点(1)について 各単元の冒頭で文字の特徴や書き方のポイントを生徒が考えたり話し合ったりする活動を位置づけ、観察や相互比較等で主体的に考えられるよう工夫されている。 〔例〕 (P54)</p> <p>●着眼点(2)について ・各単元の「学びのカギ」で、学習のポイントを端的な言葉や文で示し、基礎・基本が習得できるよう工夫されている。 〔例〕 (P54)</p> <p>・「書写ブック(硬筆練習帳)」で、毛筆の学習を生かして硬筆で繰り返し練習し書く力が定着できるよう工夫されている。 〔例〕 (P12～13)</p> <p>●着眼点(3)について 基本姿勢や筆記具の持ち方、筆使い等を動画で確認できるデジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P55)</p> <p>●着眼点(4)について 巻頭の「学習の進め方」で、各単元の学習の取り組み方について写真からイメージできるよう工夫されている。 〔例〕 (P34～35)</p>	<p>●着眼点(5)について ・「防災フェスタを開こう」で、書写の学習を生かして地域の防災や日常生活に役立てる方法がイメージできるよう工夫されている。 〔例〕 (P98～99)</p> <p>・「日常に役立つ書式」で、手紙やはがき、通信文等の書式を取り上げ、日常生活に生かす力の育成が図られるよう工夫されている。</p> <p>●着眼点(6)について ・各学年の「コラム」や3年「全国文字マップ」で、豊かな文字や文字文化への理解・関心を高める教材が配置されている。 〔例〕 (P48～49、P90)</p> <p>・「行書スイッチ」を新設し、行書の特徴を4つのスイッチで表現することで書字のポイントを意識化し生徒の意欲が高まるよう工夫されている。 〔例〕 (P52～53)</p> <p>●着眼点(7)について ・巻頭の「中学書写スタートブック」や「字形の整え方」で、小学校での学習内容をまとめ、基礎・基本を活用の中で定着できるよう工夫されている。 〔例〕 (P30～36)</p> <p>・各学年に国語教科書と連動した教材を設定し、国語で学んだ言葉や文章を楷書や行書の書字に生かされるよう工夫されている。 〔例〕 (P64)</p>

2 使用上の便宜 ・斜線部は、当該学年の内容・資料等として示されていないところ。

項目	発行者の 番号・略称	総ページ	(1) 内容別配当の分量							(2) 教材・資料等の分量									三重県に 関わる記述等
			楷書の書き方	楷書と仮名の調和	行書の書き方	行書と仮名の調和	楷書と行書	効果的に文字を書く	学習活動や日常生活に生かす	姿勢・筆記具の持ち方 項目数	学習の進め方 項目数	毛筆教材数	条幅教材数	横書き教材数	発展教材数	手本数(原寸大又は半紙二分の二)	書式に関する資料 項目数	書写に関する資料 項目数	
2 東書	総数	145	4	2	18	4	2	10	16	2	1	24	6	21	6	15	21	16	○
	1年	44	4	2	10			7	7	2		9	2	6	3	6		5	
	2年	30			8	4	2		5			8	2	12	2	6		4	
	3年	26						10	4			7	2	3	1	3		3	
	全学年共通	45								1							21	4	
15 三省堂	総数	120	10	4	20	8	2	4	29	1	1	29	7	6	6	12	12	5	○
	1年	38	10	4	12			12	12			8	2	1	2	6		2	
	2年	26			8	8	2		12			6	3	4	2	4			
	3年	13						4	5			3	2	1	2	2			
	全学年共通	43								1	1	12					12	3	
17 教出	総数	146	8	10	20	16	2	8	30	1	1	19	6	10	6	12	14	17	○
	1年	43	8	10	12			12	12			9	2	5		5		13	
	2年	32			6	12	2		12			7	2	3		4		4	
	3年	17				4		8	6			3	2	2		2			
	全学年共通	54								1	1	11			6	1	14		
38 光村	総数	165	12	4	27	7	2	6	7	2	1	32	12	13	14	11	13	19	○
	1年	44	12	4	16				1			13	4	1	2	4		1	
	2年	35			11	7	2		3			10	4	4	6	4		1	
	3年	33						6	5			9	4	8	6	3		2	
	全学年共通	53								2	1						13	15	

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮されている。 B5変型判の紙面で1ページの縦横比を半紙と同比率にしているため、文字のバランスや余白が意識できるよう工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒の色覚特性に対応するようデザインされている。 軽量かつ環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。 教材文字を上、書き込み欄を下に配置することで、右利きでも左利きでも手本を見ながら書くことができるよう工夫されている。 毛筆の手本を縮小して1ページに収めることで、文字全体の形が捉えられるよう工夫されている。 毛筆の学習では、穂先の動きや筆運びがわかるよう、二色の薄墨による解説図が掲載されている。
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮されている。 カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。 環境にやさしい用紙と植物油インキが使用されている。 教材文字を上、書き込み欄を下に配置することで、右利きでも左利きでも手本を見ながら書くことができるよう工夫されている。 各教材を見開き2ページで構成し、学習目標から振り返りまでの学習の見通しが一覧できるよう工夫されている。 毛筆の学習で習得したことを硬筆で書く際に活用できるよう、毛筆のページの後に硬筆のページを配置し、硬筆書き込み欄が多く設けられている。 毛筆の学習では、穂先の動きや筆運びがわかるよう、二色の薄墨による解説図が掲載されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮されている。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 堅牢で薄い紙を開発して使用されているほか、環境にやさしい再生紙と植物油インキが使用されている。 左利きで書く場合の用具の置き方を掲載し、「学びリンク」で左利きの持ち方の動画が収録されている。 ノートの書き方の硬筆から始まり、実生活に役立つ書写の導入となるよう工夫されている。 右ページで半紙形のイメージをもたせ、左ページでポイントを確認できる構成となるよう工夫されている。 毛筆の学習では、穂先の動きや筆運びがわかるよう、二色の薄墨による解説図が掲載されている。
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> 針金を3か所に施した中綴じ製本で、長期の使用に耐えられるよう配慮されている。 教科書サイズを5mmワイドにすることで半紙と同じ比率の教材文字となるよう工夫されている。 カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受け、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 環境に配慮した紙、植物油インキが使用されている。 教材文字を上、書き込み欄を下に配置することで、右利きでも左利きでも手本を見ながら書くことができるよう工夫されている。 実際の半紙に書く大きくなるよう、見開きでの原寸大手本が掲載されている。 毛筆の学習では、穂先の動きや筆運びがわかるよう、二色の薄墨による解説図が掲載されている。

3 その他

・今日的な課題への配慮や工夫	
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている写真やキャラクターの男女バランスが、教科書の見開きで配慮されている。 言語活動の題材や教材文字に、防災・安全や環境、国際理解、人権福祉等の現代的諸課題との関連が図られている。
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている写真やキャラクターの男女バランスが配慮されている。 文字に関わる仕事について取り上げることで、キャリア教育との関連が図られている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を踏まえ、イラスト等の表現が配慮されている。 題材に環境、平等を関連させて取り上げ、SDGsアイコンをともに掲載されている。
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> 学習をサポートする写真やイラストにおいて、男女平等や国籍に配慮されている。 題材に、「SDGs行動宣言をつくる」「防災フェスタのポスターを書く」等の現代的諸課題に関連する教材が掲載されている。